

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 資本論 | 資本論 (5)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

資本論 (5)

それでは給料を上げるための要因とはなんだろう。

それは「**労働力の生産コスト**」を**引き上げる**、ということがポイントとなる。

つまり、企業で働く労働者が収入を上げるためには、それ相応の対価を支払わなければいけないということだ。

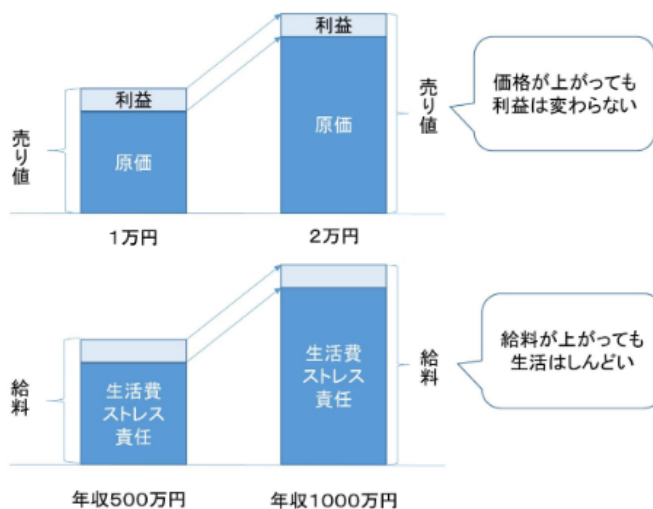
商品にたとえば、売り値を1万円高くできて喜んでいたら、じつは原価も1万円上がっていたということでもある。

商品の原材料に、その商品をつくるための研究費が含まれるのと同様、労働力としての商品にも、使用価値を高める仕事をするために必要なスキルを習得するための勉強や費用が加わるし、歳を重ねれば家族も増えて生活するための必要経費も増えてくるし、責任も重くなるとともにストレス発散や交際費などの経費も増えてくる。

だから労働者はいつまでたってもしんどいのである。

なにもしないで給料だけが上がっていくとしたら、その人は給料泥棒といわれてしまう。

厳しいようだが、これが現実である。



(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>> 一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ 📄 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.